

# 校長通信 未来へのスタート

2024. 6. 5 文責 川口 雅哉

## 「雨の野外活動でしたが…」

早いもので、1学期の折り返し地点となる6月に入りました。先月中旬には、1学期の大きな行事の一つである春の社会見学が晴天の天候に恵まれて無事に終了しました。6年生の社会見学と一緒に引率しましたが、明日香村の中をフィールドワークする6年生のみなさんが、率先して道行く観光客や他校の子どもたちに明るく挨拶をしてきていました。その姿に、他校の先生からはお褒めの言葉もいただき、挨拶がまわりに好印象を与え、すがすがしくさわやかにさせてくれることを実感し、大変うれしい気持ちになりました。

5年生の野外活動は、5月31日（金）から6月1日（土）にかけて実施することができました。今年の野外活動は、1日目が雨の影響を受けて予定していた内容を変更せざるを得なくなりました。フィールドアスレチックは、実施直前に雨が降り始めたため勾玉づくりに変更しました。雨が降り続く中での野外炊飯は、自炊場とかまどが少し離れているため、材料の入った鍋をかまどまで持っていくのに苦労しました。雨に多少濡れながらも、みんなで力を合わせて作業を行い、おいしいカレーができ上がりました。キャンプファイヤーも、雨のため室内でのキャンドルファイヤーに変更しました。場所をプレイホールに移しましたが、どの班のみなさんもこの日のために練習した成果をスタンプ（出し物）で発揮し、大いに楽しませてくれました。最後に、暗い部屋の中で、火の女神からひとりひとりに分け与えられたろうそくの炎を見つめながら、今日まで自分にかかわってくれた人たちに感謝の気持ちを持ち、これからの願い事を思い浮かべる活動は、とても心に染みました。

子どもたちにとって、雨の中での活動は確かに苦労や困難が多く、思い通りにならないことも多かれ少なかれあったことと思います。しかし、自然は人間の思い通りにコントロールすることはできないこと、リスクがある場合は予定を変更する必要があること、変更した内容でも取り組み次第で楽しく思い出に残る活動ができることなど、雨の野外活動だからこそ得られたものがたくさんあったのではないのでしょうか。ふり返れば、一昨年の野外活動も（日帰りでした）一日中雨が降りました。当時の5年生たちも、雨で変更となったプログラムを協力しながら活動し、野外活動で大きく成長することができました。これから先も、自分の思い通りにならないことが時にはあるでしょうが、そのような時に、今回の野外活動での経験がきっと生かされるのではないかと思います。

幸いなことに、2日目は晴天に恵まれ、予定していたオリエンテーリングなどの活動が実施でき、緑豊かな自然を満喫することができました。2日間の野外活動で、雨と晴れの天候を両方経験できたというのも、大変貴重なことですね。

今回の社会見学や野外活動の実施に向けて、各家庭で準備や対応などに様々なご支援とご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。